



発信！附特の魅力！

～2年目校長が感じた附特の魅力を伝えます～

大分大学教育学部附属特別支援学校

校長 野田幸代

パート24：四校園の結束

ゴールデンウィークの真っ直中の5月2日（月）に、附属四校園（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）の全校児童生徒による子ども集会がありました。四校園の子どもや教職員が附属中学校の運動場に集まり、ゲームやダンスを通して交流を深めました。この集会は、32年続く伝統の行事となっています。



始めの会



終わりの会



これからの日本は、障がいのある人もない人も共に充実した時間を過ごすインクルーシブな社会をめざしています。この4月には「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」が施行されています。学校教育においても、障がいに応じた合理的配慮の研修・取組が始まりました。附属特別支援学校は地域の小中学校に対するセンター的役割と共に、附属四校園に対する情報発信の役目を担います。

午後からは四校園合同研修会を行いました



4. 場所

附属小学校研修室

[研修会式次第]

司会進行 附属小

1. はじめの言葉（築城）

2. 講演

・附属学校園連携統括長

堀 泰樹 先生

「附属改革の必要性について」

・附属特別支援学校校長

野田 幸代 先生

「合理的配慮について」